

第1学年 外国語科学習指導案

令和4年12月13日(火)5校時
浦添市立仲西中学校1年8組 34名
指導者 當間 栄太

1 単元名 Lesson 6 Lunch in Chinatown ~How about lunch of a restaurant in Chinatown~

『教育出版社 One World English Course 1 p.75-85』

2 単元の目標

- (1) 疑問詞(which/why/who/whose)を含む疑問文の文構造を理解している。【知識】
お勧めする場所や活動等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、疑問詞を含む疑問文を用いて、相手に質問したり、答えたりする技能を身につけている。【技能】
- (2) 相手に「行ってみたい」「やってみたい」など思ってもらえるように、お勧めする場所や活動等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えている。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 相手に「行ってみたい」「やってみたい」など思ってもらえるように、お勧めする場所や活動等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年度告示)の「(3)話すこと[やりとり]」に関連する内容を取り扱い、「イ.日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする」ことを目的とする。

言語材料は、疑問詞(which/why/who/whose)を含む疑問文を取り扱う。疑問詞の多くは小学校の外国語活動で慣れ親しんだものも多く、言語活動を通してより自由な自己表現ができるよう指導していきたい。

題材は、教科書の登場人物が中華街のレストランで食事をする場面、お店選びやメニュー注文など学習者に馴染みのある話題や登場人物達の会話で繰り広げられている。一方であまり聞き慣れない食べ物の英単語が出てくるため、イラストやICT等を活用し、できるだけ分かりやすい内容理解の指導を行ってきたい。

言語活動の側面から見てみると、登場人物達の会話で物語が展開されており、言語材料が自然な文脈で導入されているため、話すこと(やりとり)の言語活動へ繋がりやすいと考える。目的・場面・状況を明確に設定し、意見交換する言語活動を増やしていきたい。

(2) 生徒観

本学級は、学級内の仲が良く、様々な学習活動にも互いに協力して取り組むことができる。

5月に行った英語学習への意識調査では、「英語が好きですか」という問いに対して15%の生徒が「いいえ」と回答しており、英語学習に苦手意識や難しさを感じている生徒も少なくない。特に、最も難しいと感じる技能については、「書くこと」と「話すこと」が約65%を占め、アウトプット面に不安や苦手意識があることが分かった。その一方で、約80%の生徒がそれらの技能を「必要である」と回答しており、英語学習とアウトプットの必要性を感じている。

「話すこと(発表)」については、Lesson3で先生紹介のポスターにナレーションをつけるパフォーマンス課題を取り入れた。その際は、先生方の情報を整理し、簡単な語句や表現を用いて発表することができ、多くの生徒が概ね学習目標に到達することができた。ペア・グループなどで話しあう活動はこれまで取り入れてきたが、「話すこと(やりとり)」をパフォーマンステストとして行うのは本単元が初めてである。目的・場面・状況を十分に伝え、会話を継続する力を身につけることができるよう、丁寧に指導していきたい。

(3) 指導観

本単元を通して、これまで学習してきた言語材料を用いて、相手に事実や自分の考え、気持ちなどを理解してもらえるように、伝えたいことを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする力を育てたい。

これまで「話すこと(やり取り)」に関するパフォーマンス課題に取り組んだことはなく、初めは英語で会話を継続することを難しく感じると予想する。そのため、帯活動でペアでのアウトプット活動を継続的に取り入れ、既習表現等を用いて会話を継続できる楽しさを実感できるように、単元を通して段階的指導を行っていく。

小中学校の学びの接続の観点から、やりとりや言語活動、反復練習を通して、言語材料の定着を図り、最後に文構造を確認していくという流れで指導していく。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(やりとり)	<p>〈知識〉 疑問詞(which/why/who/whose)を含む疑問文の文構造を理解している。</p> <p>〈技能〉 お勧めする場所や活動等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、疑問詞を含む疑問文を用いて、相手に質問したり、答えたりする技能を身につけている。</p>	<p>相手に「行ってみたい」「やってみよう」など思ってもらえるように、お勧めする場所や活動等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えている。</p>	<p>相手に「行ってみたい」「やってみよう」など思ってもらえるように、お勧めする場所や活動等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>

5 単元の指導と評価の計画(全10時間)

時	◆目標(ねらい) ○主な活動等	評価				
		知・技	思判表	態度	評価規準・方法等	
1	<p>◆目標 1 単元目標を共通理解し、学習の見通しを持つ。 目標 2 本単元の新出語句を学ぶ。 ○単元目標の確認 ○新出語句の導入・練習</p>				<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことを毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>	
2	<p>◆目標(めあて) おすすめのものについて、自分の考えと理由を伝えることができる。 ○Model Talkの提示・Performance Testの評価についての確認 ○帯活動 Pair Talk①(クリスマスにおすすめのプレゼントを伝えよう)</p>					
3	<p>◆目標 whyとbecauseを使って、ペアでやりとりができる。 (めあて Bobに沖縄でオススメの場所を伝えることができる。) ○帯活動 Pair Talk②(クリスマスにおすすめの場所を伝えよう) ○教科書内容理解(Part1 P.76)</p>					
4	<p>◆目標 whoを用いて、自分の考えと理由を伝えることができる。 (めあて Bobに沖縄でオススメの食べ物を伝えることができる。) ○帯活動 Pair Talk③(クリスマスにおすすめの食べ物を伝えよう) ○教科書内容理解(Part2 P.78)</p>					
5(本時)	<p>◆目標 疑問詞を用いて、自分の考えと理由を伝えることができる。 (めあて クラスメイトにおすすめの旅行先について伝えることができる。) ○帯活動 Pair Talk④(クリスマスにおすすめの活動を伝えよう) ○教科書内容理解(Part3 P.80-81)</p>					
6	<p>◆目標(ねらい) トニー先生にオススメの冬休みの計画を伝えることができる。 ○前時の復習 ○Practice for performance test</p>					
7	<p>◆目標(ねらい) トニー先生にオススメの冬休みの計画を伝えることができる。 ○パフォーマンステスト(インタビューテスト)</p>		○	○		パフォーマンステスト
8	<p>◆目標(ねらい) トニー先生にオススメの冬休みの計画を伝えることができる。 ○パフォーマンステスト(インタビューテスト)</p>		○	○		パフォーマンステスト
9	<p>◆目標 疑問詞を含む疑問文の語順・文構造を理解する。 (めあて Lesson6で使った文のしくみを確認しよう) ○文法定着練習活動 ○言語材料の文法的指導</p>					1~6と同じ
10	<p>◆目標 単元テストを通して、単元の学習を振り返る。 ○単元テスト・リスニングテスト ○自己評価シートの記入・提出</p>	○	○	○		ペーパーテスト 自己評価シート

6 単元末または学期末におけるパフォーマンステストとそのルーブリック

(1) パフォーマンステスト

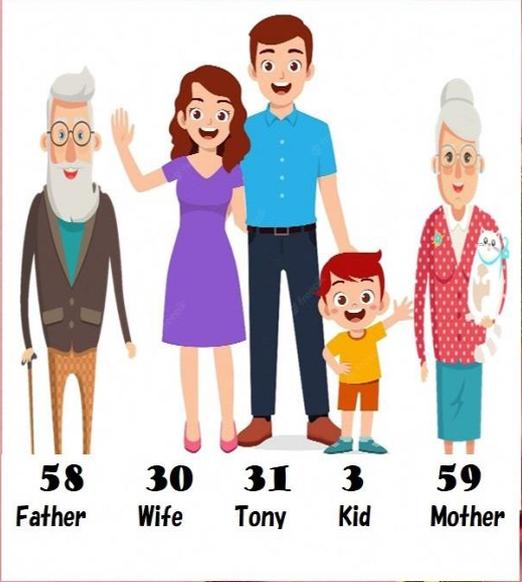
ALT の Tony 先生のアメリカの両親が冬休みに沖縄に来ることになりました。そこで、トニーは冬休みの計画を立てるために、生徒のみんなに両親や息子が楽しめるようなオススメのものや活動についてのアイデアを聞きたがっています。

あなたは card の情報とカテゴリーについて、自分の考えを伝えたり、質問に答えたりして、Tony におすすめの冬休みの計画とその理由を伝えましょう。

Winter Vacation Plan

トニーの家族のために
冬休みのオススメのもの伝えよう。

Food	Place
Activity	Present



58 30 31 3 59

Father Wife Tony Kid Mother

(2) 採点の基準・ルーブリック

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば、「b」としている。なお、生徒の実態や指導の状況を踏まえ、全ての条件を満たしていれば「a」、2個なら「b」、1個以下なら「c」とすることも考えられる。

条件1：カードの内容を踏まえて、自分の意見やその理由を述べている。

条件2：話題を広げたり、深めたりするために、相手に質問をして対話を継続している。

条件3：相手の質問に適切に答えながら、対話を継続している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	/	自分の考えを詳しく述べたり、効果的に相手に質問をしたりしながら、3つの条件を満たしてやり取りしている。	自分の考えを詳しく述べたり、効果的に相手に質問をしたりしながら、3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
B	/	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
C	/	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「知識・技能」は単元末に実施予定の単元テストで見取る。

(3) 生徒のやりとり例及び評価結果

	発話例	採点の結果	評価
生徒 A	<p>T: What food do you recommend for my family?</p> <p>S: <u>I recommend Tacorice.</u> [条件 2]</p> <p>T: Why do you recommend Tacorice.</p> <p>S: <u>Because it's Okinawa popular food.</u> [条件 1]</p> <p>T: Oh, that's nice.</p> <p>S: <u>Does your wife like spicy food?</u> [条件 3]</p> <p>T: Yes, she does.</p>	<p>・ 3つの条件を満たしてやりとりをしている。</p>	B
生徒 B	<p>T: What activity do you recommend for my family?</p> <p>S: <u>I recommend ice cream.</u> [条件 2]</p> <p>T: Why do you recommend it?</p> <p>S: You can enjoy Okinawan icecream.</p> <p><u>For example, beni-imo.</u> [条件 1]</p> <p><u>Does your mother like sweets?</u> [条件 1&3]</p> <p>T: Yes, she does. I like your idea.</p>	<p>・ 自分の考えを詳しく述べたり、効果的に相手に質問をしたりしながら、3つの条件を満たしてやり取りしている。</p> <p>⇒①例を挙げて、説明している。 ②家族についての質問を効果的に行っている</p>	A
生徒 C	<p>T: Which do you recommend, food or present?</p> <p>S: I recommend present.</p> <p><u>Does your kid like sports?</u> [条件 2]</p> <p>T: Yes, he does. Which sport do you recommend?</p> <p>S: <u>X'mas cake and chicken.</u> [条件 3×]</p>	<p>・ 条件 3 (適切な返答) を満たしていない。</p>	C

7 本時の学習 【5／10時間】

(1) 目標

相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、お勧めする活動について、自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、質問に答えることができる。

(2) 本時の授業の工夫

ペアでの言語活動の後に、内容や言語面に関する指導を入れ、再度言語活動を繰り返すことで、表現の幅を広げる。

(3) 展開例

	学 習 活 動	○ 指導上の留意点 ★ 予想される児童生徒の反応	評 価 方 法
導 入 17分	1 Greetings 2 前時の復習	○前時の活動の様子を映したビデオを用いて、本時で意識するポイント等を引き出す。 ★ 1 For example, 2 Does your OO like ~?	
	3 帯活動(Pair Talk④) (トニーに沖縄でオススメの活動を伝えよう)	★1 Which ○○ do you recommend, ○○ or ○○? 2 I recommend ~~, ○○ is very exciting. 3 You can enjoy ~~, 等 ○例を挙げたり、理由を詳しく述べるよう意識させる。 トニーの家族のための話し合いになるように意識させる。 【努力を要する状況と判断される児童（生徒）への支援】 ワークシートの表現を参考にさせる。	机間指導 動画撮影
展 開 ① 1 0 分	4 本時のめあての確認 5 Pre-reading イラストを見ながら、物語の内容を予想する。 6 while-reading 読んだ内容をもとに、ボブのブログを完成させる。	Today's Goal : クラスメイトにおすすめの旅行先を伝えることができる。 ○whose を用いた疑問文の意味・構造が大まかに分かるよう、Teacher Talk を行う。 ○立てた予想の正誤確認を行いながら、内容理解を深める発問を行う。 【努力を要する状況と判断される児童（生徒）への支援】 教師と生徒の Q&A をクラス全体で行い、内容の理解度を高める。	
	7 post-reading (Pair Talk) 登場人物 3 名のブログの写真を提示し、オススメの Activity を伝え合う。 ① 教師が例を示す。 ② 活動（1回目） ③ 中間指導 ④ 活動（2回目） ⑤ 中間指導 ⑥ 活動（3回目） ・適宜 middle comment を入れる。	★ 1 Whose ○○ do you recommend? 2 I recommend ~~, Because ○○ is ~~, 3 You can enjoy ~~, 等 ○中間指導では、使えそうな表現を確認したり、モデルとなるペアに発表してもらおう。 ○これまで帯活動で指導してきた表現も活用させる。 【努力を要する状況と判断される児童（生徒）への支援】 帯活動のワークシートの表現を参考にさせる。	指導に生かす評価 【思判表】(概ね満足) 相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、お勧めする活動について、伝えたり質問に答えている 【主体的】(概ね満足) 相手に「やってみたい」と思ってもらえるように、お勧めする活動について、伝えたり質問に答えようとしている。 方法：観察
終 末 8 分	8 まとめ 本時で学んだことを確認する。 9 振り返り 活動を振り返って学んだことや気づいたこと、できるようになったことなどを振り返らせる。	まとめの内容 上手にオススメするためには、 ① 例を挙げたり、詳しく理由を説明する。 ② 相手の好み等を尋ねる。	

(4) 板書計画

Review	<p>単元 Goal : トニー先生に、冬休みのプランについておすすめのものを紹介しよう</p> <p>Goal: クラスメイトにおすすめの旅行先を伝えることができる。</p>	<p>まとめ</p> <p>振り返り</p>
Pair Talk #4	<p>Day: Wednesday</p> <p>Date: December 13th</p> <p>Weather: Sunny</p> <p>Key 1 ⇒ 例を挙げたり、詳しく理由を説明する。</p> <p>Key 2 ⇒ 相手の好み等を尋ねる。</p>	
Reading		
Pair Talk		
まとめ		

(5) 使用教材・・・教科書・A4 ワークシート・ipad (ロイロノート)

(6) 授業スライド

<p>① 帯活動 スライド (Pair Talk #4)</p>	<p>② Reading スライド (While-reading)</p>
<p>③ Speaking スライド (Post-reading)</p>	